
隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 322 号

—環境・農業・食べ物など情報の交流誌—

2011.11.04（金）発行 山崎農業研究所&編集同人

<キーワード>

環境・農業・健康・食べ物などの情報提供、高齢者と若者、農村と都市の
交流ミニコミ誌。山崎農業研究所&『電子耕』編集同人が編集・発行。

<http://www.yamazaki-i.org>

*****発行部数 1190 部*****

□ 目 次 □-----

<巻頭言> 目的地不明の夜間特急バス：TPP

—拙速の飛び乗りも途中下車も大怪我のもと— 小泉浩郎

<山崎農業研究所・現地研究会のご案内>

<イベント情報> TPP を考える国民会議 主催

／～STOP TPP!!～ TPP 交渉参加に反対する

街頭演説会&デモ行進（11/05）

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.126』発行されました

<編集後記> もっと怒りを！：いったい誰のための TPP なのか！？

<巻頭言> 目的地不明の夜間特急バス：TPP

—拙速の飛び乗りも途中下車も大怪我のもと—

反 TPP「食・暮らし・いのちを守る全国集会（10月27日、東京・日比谷野外音楽堂）」に農林漁業者、消費者、医療関係者、研究者等3千人が集まりました。TPP 反対請願の紹介議員は与野党含めて365名、国民に問いかけた TPP 交渉参加に反対する署名は1167万人に上っています（全国協同組合中央会、10月24日）。地方でも反対決議、反対デモも日ごとに増加しています。更に TPP 交渉参加に賛成する都道府県知事は、条件付きを含め全国で6人に過ぎません（10月28日、共同通信社）。

TPP 問題は、農業・食糧問題だけではありません。農業、林業、漁業、工業、サービス業、金融、投資、医療、保険、労働など24分野の世界基準への構造改革が迫られます。TPP 参加後、この国はどんな国になるか。政府発表によれば TPP 参加で10年間でGDPが2.7兆円増加（年当りGDPの0.06%）とあるが、とても「ばら色の明日」は見えません。

交渉途中で不都合ならば途中下車すればよいといいますが、乗ってしまえば、ノンストップ、単なる乗客でなく運行の共同責任があります。それでも途中下車を強要すれば、主ドライバーであるアメリカからの糾弾は避けられません。この未曾有の災害時、そして円高、先ず足元の課題解決が先決で、TPP問題を総合的に分析、評価する時間が足りないはずです。それに問題を先送りにし、期限を切った拙速は、解決どころか問題を更に大きくするだけです。普天間基地移転の拙速と覆い隠す甘言がその悪例です。

野田総理、これだけの反対があり国論を二分したままで、それでも APEC 首脳会談（11月13～14日）で TPP 交渉参加を表明しますか。

与野党を含めた 365 名の選良の皆さん、断固阻止してください。下手な妥協はしないでしょね。もし参加を断行した場合、その拙速を糾弾すると共に自らも選良としての責任（離党を含めて）を捨てない覚悟を示してください。

TPP 参加は、間違いなくこの国のかたちを変えます。その例はすでに身近にあります。商店街はわが国固有の文化でした。アメリカの横車（大規模小売店舗立地法）で大規模店舗が郊外に自由に開店可能となり、商店街はシャッター街になってしまいました。世界に誇るみどりの山々は、丸太、製材、チップ、パルプの関税 0% によって、国産材の価格は下がり、管理は放置され、水源の枯渇、災害の元凶にまでなっています。近年、その山林をねらった外資の動きもあります。TPP の影響は、生産や生活のあらゆる分野でおこる可能性があります。家族や仲間でもっと議論を深めようではありませんか。

小泉浩郎

山崎農業研究所事務局長

yamazaki@yamazaki-i.org

<山崎農業研究所・現地研究会のご案内>

今回の現地研究会は 3.11 の津波で被災した農地での除塩試験を実施している農地視察と宮城県農業・園芸試験場の被災状況や取り組み状況を把握し、今後の震災復興の方向性や課題等をさぐることを目的にしています。

1. 日時 2011 年 11 月 25 日（金）

2. 場所 宮城県山元町、名取市
3. 日程 仙台駅 10 時 30 分集合（仙台駅 2F 正宗銅像前）

(1)11:30 山元町

NTC 実験圃場、夢イチョゴ生産組合視察

(2)15:30 名取市

宮城県農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺 1 番地

※解散は 17:00 頃を目標、服装は汚れてもよいものでお願いします。

4. 参加費 1,000 円（仮・レンタカー、資料代等）

※食事代は含みませんので各自負担になります。

5. 申し込み

参加希望者は 10 月 15 日までに下記へご連絡下さい。会員外の皆さんの参加も歓迎します。

TEL : 03-3357-5916 (益永)

e-Mail : y.masunaga@ntc-c.co.jp

<イベント情報> TPP を考える国民会議 主催
～STOP TPP!!～ TPP 交渉参加に反対する
街頭演説会&デモ行進 (11/05)

TPP を考える国民会議

<http://tpp.main.jp/home/>

■～STOP TPP!!～ TPP 交渉参加に反対する街頭演説会&デモ行進

◎とき…11 月 5 日 (土) 13:30～15:00

◎ところ…有楽町イトシア前

◎弁士…中野剛志氏他、国会議員、著名ジャーナリストを予定

15:30～デモ行進。日比谷公園霞門から行進スタート

17:00 終了予定

◎問い合わせ先…TPP を考える国民会議 山本晶三 03-3288-1154

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.126』発行されました

山崎農業研究所所報『耕 No.126』が発行されました。

ご希望の方には雑誌を頒布（有料：1,000 円）いたします。

yamazaki@yamazaki-i.org

までご連絡ください。

目次（抜粋）

《土と太陽と》（巻頭言）

アグロノミストとして、太陽エネルギーの利用を考える◎塩谷哲夫

[第 138 回定例（現地）研究会]

小川光氏 山崎記念農業賞を祝う会

研究会——ものづくり・ひとづくり・むらづくり をめぐって

参加者の声 成尾和浩／永井智一／若松美香／益永八尋

[第 139 回定例研究会] 循環型社会と農業——とくに畜産との関係から

I 安全・安心こそいのち——牛飼い雑記◎峯村富治

II 有機性資源の循環利用による土の健康

——総合的養分管理の重要性◎松村昭治

[第 140 回定例研究会] 蘇れ、山と森と林

I 荒れ山を逆手にとれ！ 木のある暮らしの実践と楽しみ方◎大内正伸

II 荒れる人工林：森林管理から木材利用まで林業再構築をめざして◎鋸谷 茂

〈連載〉畦道・赤トンボのナショナルリズム [17]

科学とナショナルリズム／宇根 豊

<編集後記> もっと怒りを！：いったい誰のための TPP なのか！？

野田首相は APEC 首脳会談（11 月 13～14 日）で TPP 交渉参加を表明しようとしているという。

しかし TPP についていちばんわからないのが、TPP を推進しようとする政治家や財界人の真意である。

TPP は、環太平洋諸国の経済障壁を除き域内全体の経済成長をはかるものではない。交渉参加（予定）国全体の経済規模のうち、アメリカと日本で 9 割を超える。だから TPP は日米 FTA 交渉であるに過ぎない。

TPP は、日本の輸出を増やすものではない。そもそも TPP は、経済不振に悩むアメリカが輸出や企業進出を拡大するために打ち出さしたものである。また、

すでに日本はアメリカに多くの現地法人を設けており、関税がなくなってもその恩恵はきわめて少ない（1年あたり2700億円）。

TPPは、農業分野だけの問題では「ない」。TPPは、医療や金融、公共事業など多分野に及ぶ。

菅首相（当時）による唐突なTPP参加交渉検討発言以来、あらためて確認された事実を荒っぽいかもかもしれないが整理すると、このようになる。それなのになぜ推進派はTPP参加を急ぐのか？

TPPに反対する京都大学の中野剛志準教授は出演したテレビ番組で怒りを露わにした。

TPP問題で中野剛志氏がフジテレビを論破！

<http://www.veoh.com/watch/v23123124Jbp2frKt>

<http://www.veoh.com/watch/v231244109tJYpRnB>

「反対」というと、意味もなく自身の利益を守る…といったニュアンスがつきまとうかもしれないので言い直したい。「賛成する合理的な理由がまったくない」のである。とすれば推進派の真意は、アメリカへの配慮に過ぎないことになる。

中野氏の怒りはもっと共有されてしかるべきではないか。

付記：

関良基氏（拓殖大学准教授）のブログには、

「アメリカ国民の多数は自由貿易が大嫌い」

<http://blog.goo.ne.jp/reforestation/e/22983b93bc961ab1c16ac1a188e5f826>

というたいへん興味深い記事がある。こちらもぜひ読んでいただきたい。

2011年11月04日

山崎農業研究所会員・田口 均

yamazaki@yamazaki-i.org

『自給再考——グローバリゼーションの次は何か』

(発売：2008/11 定価：1,575 円)

http://shop.ruralnet.or.jp/b_no=01_4540082955/

たくさんの書評・紹介記事をいただいています。感謝・感謝です。

◎辻信一さん (文化人類学者、ナマケモノ倶楽部世話人。明治学院大学教授)

グローバルの次は何? ~卒業するゼミ生諸君へ

<http://www.sloth.gr.jp/tsuji/library/column64.html>

◎戒谷徹也さん (大地を守る会)

ブログ：大地を守る会のエビちゃん日記 “あんしんはしんどい”

「自給率」の前に、「自給」の意味を

<http://www.daichi.or.jp/blog/ebichan/2008/12/16/>

◎吉田太郎さん (長野県農業大学校教授、執筆者)

キューバ有機農業ブログ 自給再考の本が出ました

http://pub.ne.jp/cubaorganic/?entry_id=1822182

◎関良基さん (拓殖大学政経学部)

ブログ：代替案 書評：『自給再考——グローバリゼーションの次は何か』

<http://blog.goo.ne.jp/reforestation/e/cb22650fa39384bdd22b61440fa81fa0>

◎大内正伸さん (イラストレーター・ライター)

ブログ：神流アトリエ日記 (3) 「書評『自給再考』」

<http://sun.ap.teacup.com/applet/tamarin/20081204/archive>

◎ブログ：本に溺りたい グローバリゼーションの次は何か

<http://renqing.cocolog-nifty.com/bookjunkie/2009/01/post-841e.html>

◎森川辰夫さん

NPO 法人 農と人とくらし研究センター／資料情報

<http://www.rircl.jp/shiryo.htm>

◎日本農業新聞／書評

(2009/01/19 評者：日本農業新聞編集委員 山田優)

<http://yamazaki-i.org/>

(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)

◎小谷敏さん (大妻女子大学)

日本海新聞コラム「潮流」／「自給」の方へ (2009/01/31)

<http://blog.goo.ne.jp/binbin1956/e/c895f6619b30ba7725e264b4daa75219>

◎白崎一裕さん ((株) 共に生きるために)

月刊とちぎ V ネットボランティア情報 vol.158／しみん文庫

<http://yamazaki-i.org/>

(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)

◎塩見直紀さん (半農半 X 研究所、執筆者)

ブログ：半農半 X という生き方～スローレボリューションでいこう！

立国集。

<http://plaza.rakuten.co.jp/simpleandmission/diary/200812270000/>

◎お願い「<読者の声>の投稿規定・メールの書き方」

1、件名（見出し）を必ず書いて下さい。「はじめまして」は省略して、言いたいことを具体的に。

2、氏名・ハンドルネームは、文末ではなく始めのほうに。

3、1回1テーマ、10行位に。

4、ホームページを持っている人は、文末に URL を。

5、JIS X0208 規格外の文字（機種依存文字）のチェックを。

<http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/networks/check/jisx0208.html>

インターネットで使えない丸数字や半角カタカナ、括弧入り略号などは文字化けの原因です。

次回 323 号の締め切りは 11 月 14 日、発行は 11 月 17 日の予定です。

<本誌記事の無断転載を禁じます>

隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 322 号

最新号・バックナンバーの閲覧

<http://archive.mag2.com/0000014872/index.html>

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

購読申し込み／解除案内

<http://www.yamazaki-i.org>

2011.11.04 (金) 発行 山崎農業研究所&編集同人

<mailto:yamazaki@yamazaki-i.org>

***** ここまで『電子耕』 *****